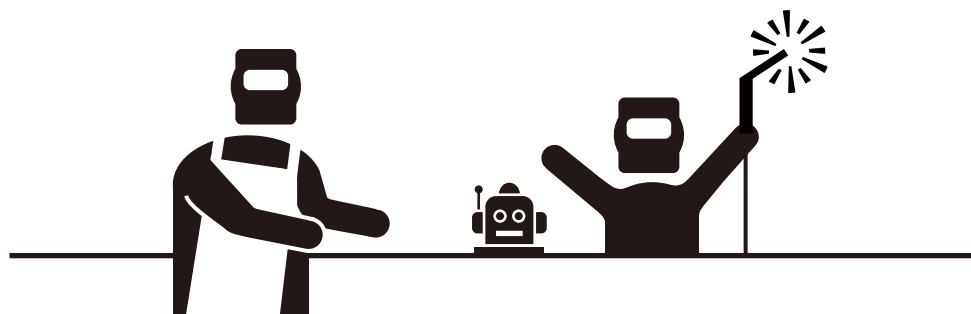


「DIY 応援部」 市民の主体的な創造活動をサポートする団体



事業内容

市民が主体的に創作活動を展開できるようにするためには、充実した専門機器とそれらの使用方法を説明する専門スタッフが必要です。「DIY 応援部」は、最新の工作機器の使い方をスタッフが事前にレクチャーし、市民の主体的な創作活動をサポートする組織です。また、「DIY 応援部」も積極的にものづくりイベントなどを開催することで、市民によるより高度なものづくりへの実践の機会を提供していきます。この取組では、創作活動を通じた世代間交流や市民同士のコミュニケーションの機会を創出することを目指します。

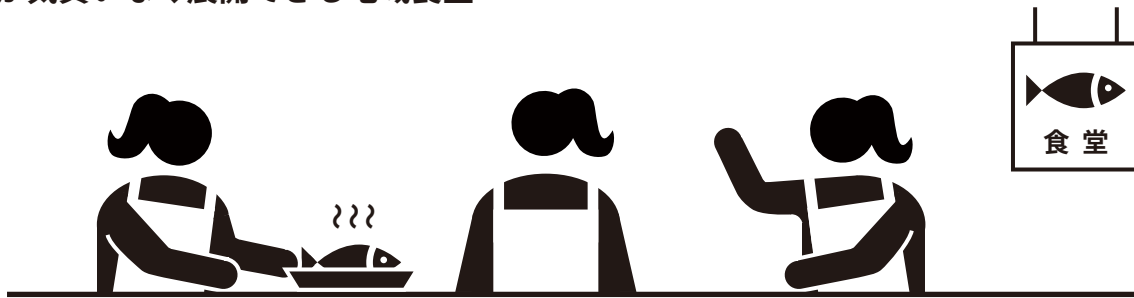
実施することで得られる効果・可能性

より高度な創作活動の実践機会を創出
創作活動を通じた世代間交流や市民同士のコミュニケーション機会の創出

実現する上での課題

専門機器の設備投資
専門スタッフの雇用

「手作り食堂 in 市民プラザ」 市民が気負いなく展開できる地域食堂



事業内容

市民が主体的に参画することのできる場は、ホールや練習室だけに限らず、施設の中にあるレストランやカフェでも可能です。「手作り食堂 in 市民プラザ」は、コミュニティ・レストランの仕組みを参考に、日替わりで食堂を運営していく取組です。日替わりで作り手が交代していく仕組みを採ることで、市民が気負いなく活動を展開できるようにし、例えば地域のお母さんたちが食堂のスタッフとなったり、小学生が放課後にボランティアスタッフとして配膳を手伝ったりします。この取組では、レストランやカフェが地域に根付き、食を通じた市民間のコミュニケーションの創出を目指します。

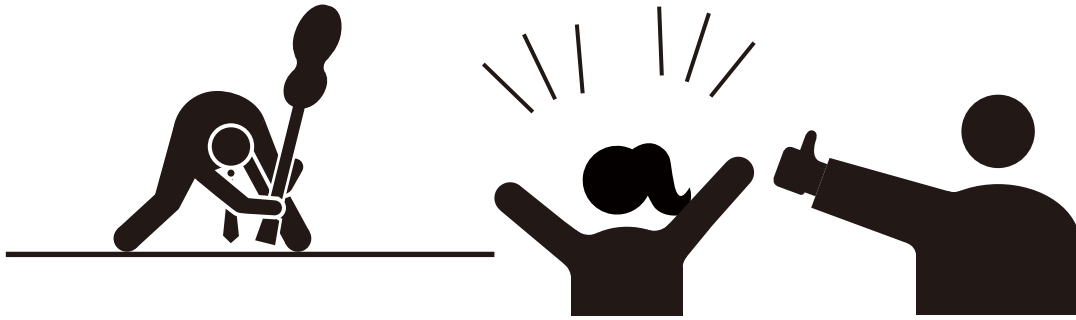
実施することで得られる効果・可能性

市民の社会参画の場を創出
食を通じた市民間コミュニケーションの展開

実現する上での課題

コミュニティ・レストランの実践を希望する市民の存在

「見習い親父バンドプロジェクト」 楽器演奏初心者地域でサポートし、働き世代のサードプレイスを創出する取組



事業内容

仕事や家事などで忙しい働き世代は、文化芸術活動へ参加する機会は少なく、働き世代が気軽に文化芸術活動へ参加できる工夫や仕組みが重要です。「見習い親父バンドプロジェクト」は、昔やっていたバンド活動を再開するのではなく、楽器演奏を始めるところからスタートするバンドプロジェクトです。講師は地元出身の若手ミュージシャンが行い、年に何度か発表の場を設けます。いつもは仕事で活躍しているお父さんがバンド演奏でカッコいい姿を娘にみせ、それを若い講師が見守るといったように、この取組では、世代間コミュニケーションと働き世代のサードプレイス創出を目標に活動を展開していきます。

実施することで得られる効果・可能性

働き世代のサードプレイス創出
世代間コミュニケーションの促進

実現する上での課題

楽器を始めたいと思っている働き世代の存在
若手ミュージシャンの雇用

「ボランティアコーディネーター協会」 市民の能力や適正に合わせたボランティア活動を引き合わせる組織



事業内容

限られた人材・予算で実施される施設運営にとって、市民ボランティアの存在は貴重であり、ボランティア活動への気軽な参加と参加意欲を高める仕組みや工夫が重要になります。「ボランティアコーディネーター協会」は、人材を募集する施設運営者とボランティアを希望する市民双方が win-win の関係を構築できるように、市民の能力や適性に合わせたボランティア活動を引き合わせる組織です。組織がボランティア活動の仲介をすることで、施設運営者にとっては自身の業務に専念できるためサービスの向上につながり、一方の市民にとっては自身の能力向上や文化芸術活動へのより一層の活躍ができます。

実施することで得られる効果・可能性

施設サービスの向上
市民ボランティアの意欲・向上

実現する上での課題

施設の希望とボランティア志願者を上手く引合わせることのできるスタッフの雇用

「共にアクション実行委員会」 施設と市民と一緒に要望・意見を実現していく取組



事業内容

施設の運営にとって、利用者である市民の要望や意見を真摯に聞き入れる姿勢は非常に重要です。その一方で市民も、要望や意見を単に述べるだけでなく、要望や意見を施設運営者と共に実現させていく姿勢が重要になります。「共にアクション実行委員会」は、施設についての要望・意見を募る市民参加型の会議を開催し、そこで出された要望・意見について、それを提示した市民と共に実現させていく取組です。施設運営者と市民が顔を合わせながら要望・意見を実現させるための方法や解決策を考え抜くことで、市民主体の施設づくりを目指します。

実施することで得られる効果・可能性

市民主体の施設づくりの実現

実現する上での課題

何をどこまで実現させていくかのルール・仕組みづくり
市民の要望・意見を柔軟に受け入れることのできる施設運営者